

(1) 報告事項

① 報告第1号

令和4年度事業報告について

1 地域との関わりを増やす取組

◆「お酒を楽しむちょこっとさんぽ」の実施

【概要】

久留里線の利用促進及び沿線地域の経済活性化を図ることを目的とし、お酒にまつわるお店・施設を周遊して楽しんでもらうイベントを実施した。

(実施期間) 9月24日(土)～10月23日(日)

9月24日(土)、25日(日)は久留里観光
交流センター前でマルシェを実施

(実績) クーポン券340セット発売(当初240セット発
売も好評につき100セット追加発売)

(クーポン協力店舗) 20店舗

(マルシェ協力店舗) 4店舗



(イベントポスター)

◆「お酒を楽しむちょこっとさんぽ」イベント振り返り会の実施

【概要】

イベント開催にあたり協力をいただいたクーポン協力店舗の方や地域の方々とイベントの反省点の洗い出しや今後へ活かすための意見交換会を実施した。

(実施日) 12月20日(火)

(参加人数) 23名(協力店舗、地域の方、協議会等)

(意見等)

- ・地元の方はイベント開催を知らない人が多かった。回覧板などの紙媒体での周知をもっとしたほうがよい。
- ・協議会等が企画をパッケージで用意して、それを地元が運営するような、若い人がチャレンジできるような場があるとよい。
- ・イベントに限らず駅や周辺に人があふれる状況になってほしい。 など



(当日の様子)

◆久留里線乗り方教室の実施

【概要】

12月18日（日）に木更津市・君津市・袖ヶ浦市の小学生とその保護者を対象とした久留里線乗り方教室を開催し久留里線に対する親しみの醸成を図った。

- ・動画等による鉄道の仕組みや駅の紹介

J R東日本社員による駅名クイズや駅長犬との写真撮影など

- ・J R木更津駅の見学

みどりの窓口や乗車券券売機などの見学、駅構内アナウンス体験

- ・木更津駅～東清川駅間の往復乗車体験

無人駅である東清川駅での降車時の切符の受渡しや、同駅で乗車する際の乗車駅証明書の発券などを実際に体験し、J R久留里線の乗り方を学習

(実績) 参加者 10組 21名



(駅名クイズなど)



(アナウンス体験)



(東清川駅)

◆待ち時間の充実の検討

【概要】

久留里線利用時の待ち時間を充実させる取組について、各駅において待ち時間を充実させるための取りうる手段を検討し、できることから実施していくこととした。

そこで、各市でどの駅にどのようなことをすれば効果があるのかについて、地域住民や団体を巻き込むような取組を検討してきたが、実施には至らなかった。

今後、取組の実施に向けてさらなる検討を行い、トライアル実施に結び付けていく。

◆久留里線活性化プロジェクト実行委員会との協働

【概要】

久留里線活性化プロジェクト実行委員会とともに活性化施策に取り組むことにより、沿線住民等の久留里線参画意識を醸成した。

- ・花いっぱいプロジェクト 6月4日(土)・10月30日(日)



(東横田駅 中富ふれあいの会花いっぱい活動への協力)

- ・JR久留里線キーワードラリーの実施。

(実施期間) 令和4年11月12日(土)～
12月11日(日) 計30日間

(実績) キーワード帳配布数 182枚、
参加賞配布数 152枚

(参加者の声)

- ・近隣のスポットも巡る旅となり、非常に楽しかった。
- ・駅から少し歩いたり、知らなかった場所に行けたり楽しかった。
- ・イベントでないと下車しないであろう駅に降りたことが特に楽しかった。
- ・もっと久留里線のイベントがあったら嬉しい。 など



(チラシ)



(キーワードパネルの設置)

2 地域外との関わりを増やす取組

◆クルカッキョウ コラボ賞 あなたの LOVE CHIBA 教えてキャンペーン

【概要】

2022年が鉄道開業150周年であることを記念して、「あなたの LOVE CHIBA 教えてキャンペーン」と連携し、写真投稿 SNS の Instagram から、久留里線の魅力を感じる場所・モノの写真を投稿した方に抽選で13名に、協議会グッズと沿線3市いずれかの特産品を贈呈。

Instagram 上での投稿に加え、当選者の投稿写真を協議会 Twitter で紹介することで、久留里線沿線の魅力をPRした。

(実施期間) 令和4年9月1日(木)～12月18日(日)

(実績) 投稿写真 74件 ※確認できたもの

Twitter 投稿に対する いいね 36件

インプレッション数(※) 3,094件



(チラシ)

◆協議会 Twitter プレゼントキャンペーン

【概要】

協議会の Twitter 公式アカウント「JR久留里線活性化協議会@kurukakyo」をフォローし、投稿キャンペーンツイートをリツイートした方から抽選で5名に、久留里沿線3市の「イチオシ特産品」を贈呈。

協議会 Twitter フォロワー数の増加による発信力の拡大と、地元特産品のPRを図った。

(実施期間) 令和5年1月23日(月)～2月28日(火)

(実績) キャンペーン参加者 202名

関連の Twitter 投稿に対する いいね 計138件

インプレッション数(※) 計14,182件

(※) インプレッション数：利用者のタイムラインまたは検索結果にツイートが表示された回数

◆奥房総久留里新酒まつり「角打ち列車」利用客のおもてなし

【概要】

令和5年3月5日に久留里駅にて、「角打ち列車」利用客へ協議会グッズ等を配布するなど、おもてなしを実施し、久留里線のイメージアップを図った。

(実績) 参加者 61名

◆久留里線「菜久留トレイン」利用客のおもてなし

【概要】

久留里線「菜久留トレイン」の利用客に対して、おもてなしを行うことを通じて、久留里線のイメージアップを図った。



(久留里駅でのおもてなし)



(久留里駅でのおもてなし)

4月29日(金)、5月21日(土)、
6月18日(土)、9月23日(金)、
10月10日(月)、11月12日(土)に
利用客へ協議会グッズ等を配布するなど、
おもてなしを実施した。

(実績) 利用者 28名

◆協議会グッズの作成

【概要】

久留里線「菜久留トレイン」などJR東日本の旅行企画や、本協議会イベントにおける久留里線の利用客に対して、協議会で作成したグッズを配布するなど、おもてなしを行うことを通じて、久留里線のイメージアップを図った。

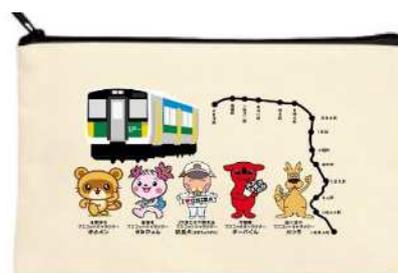
(配布先) あなたの LOVE CHIBA 教えてキャンペーン、Twitter プレゼントキャンペーン、お酒を楽しむちょこっとさんぽ(意見交換会含む)、菜久留トレイン、乗り方教室、地域振興事務所主催のイベント



(A5クリアファイル)



(ステッカー)



(ポーチ)

◆アドバイザー委託

当協議会の各種事業の実施に伴い、専門的な知見を有する方からのアドバイス料として予算化していたが、事務局内での話し合いや関係者へのヒアリング等により対応できたことから、執行を見送った。

◆取り組み内容

1 地域との関わりを増やす取組

(1) 久留里線×沿線イベント等とのコラボレーション（新規）

【目的】

久留里線沿線地域への来訪促進・沿線地域との連携強化

【内容】

久留里線沿線で開催されるイベント等（地域行事）への協力・共催や観光施設等と連携した取組を実施する。

久留里線沿線におけるお酒にまつわるお店・施設との連携を強化し、相互にメリットのある取組を実施する。

【予算額】

830千円（協力費等）

(2) 久留里線乗り方教室（継続）

【目的】

公共交通利用マインドの醸成

【内容】

木更津市・君津市・袖ヶ浦市在住の小学生とその保護者を対象とし、公共交通である鉄道の乗り方や車内マナーについて学んでもらうほか、実際に久留里線に乗車し、地元の鉄道に愛着を持ってもらう。

【予算額】

20千円（参加者の運賃、消耗品費、保険料）

(3) 待ち時間の充実の検討（継続）

【目的】

待ち時間の有効活用により、乗換等に対する抵抗を減少させ、既存利用者の利用継続性や新規利用者を増加させる。

【内容】

久留里線利用時の待ち時間を充実させる取組について、他地域の事例などを参考に「駅構内の待合スペースの充実」や「駅前公共施設等への誘導」などの取組を実施し、既存利用者の利用継続性や新規利用者の増加、駅周辺地域の活性化を探る。

なお、実施にあたっては、実現可能性や効果を考慮しながら試験的に行っていく。

(4) ノーマイカーデーの推奨（新規）

【目的】

久留里線の利用促進のための意識啓発

【内容】

鉄道の日（10月14日）などにちなみ、沿線市にて公共交通の利用を推奨する。久留里線利用デー（週間、月間）を設けて、久留里線利用に向けた啓発・PRを行うほか、利用者へ協議会グッズを配布するなど特典をつける。

2 地域外との関わりを増やす取組

(1) 久留里線沿線回遊プロジェクト（継続）

【目的】

二次交通としてのレンタサイクルの周知・充実及び活用方法の情報発信。

【内容】

駅からの二次交通として、既存のレンタサイクルの周知及び増台の検討を行うとともに、サイクル初心者の人でも気ままに自転車での散策を楽しむことができるコンテンツを動画等で紹介するなど、久留里線を降りた後の楽しみ方をPRすることで、久留里線の利用促進を図る。

【予算額】

350千円（動画作成費等）

(2) 協議会グッズの作成（継続）・協議会チラシの作成・配布（新規）

【目的】

久留里線活性化活動への動機づけや関連イベントへの参加誘引を図る。
JR久留里線活性化協議会の認知度強化。

【内容】

久留里線の利用客や沿線地域への来訪者に対して、協議会で作成したグッズや協議会の活動紹介チラシ等を配布するなど、おもてなしを行うことを通じて、久留里線のイメージアップを図る。

【予算額】

300千円（グッズ及びチラシ作成料）

(3) 協議会 Twitter プレゼントキャンペーン (継続)

【目的】

J R久留里線活性化協議会 Twitter フォロワー数の増加による発信力の拡大及び地元特産品のPR。

【内容】

協議会 Twitter にて、プレゼントキャンペーンを実施する。

プレゼントとして地元特産品を提供することで、特産品のPRにつなげる。

【予算額】

42千円 (沿線市特産品購入費、送料)

◆目標について

事業計画に伴う令和5年度以降の目標については、令和4年度における久留里線全線の日あたりの平均通過人員の実績が公表されたのち、令和2年度～4年度の目標の振り返りと併せて設定を行うこととする。